
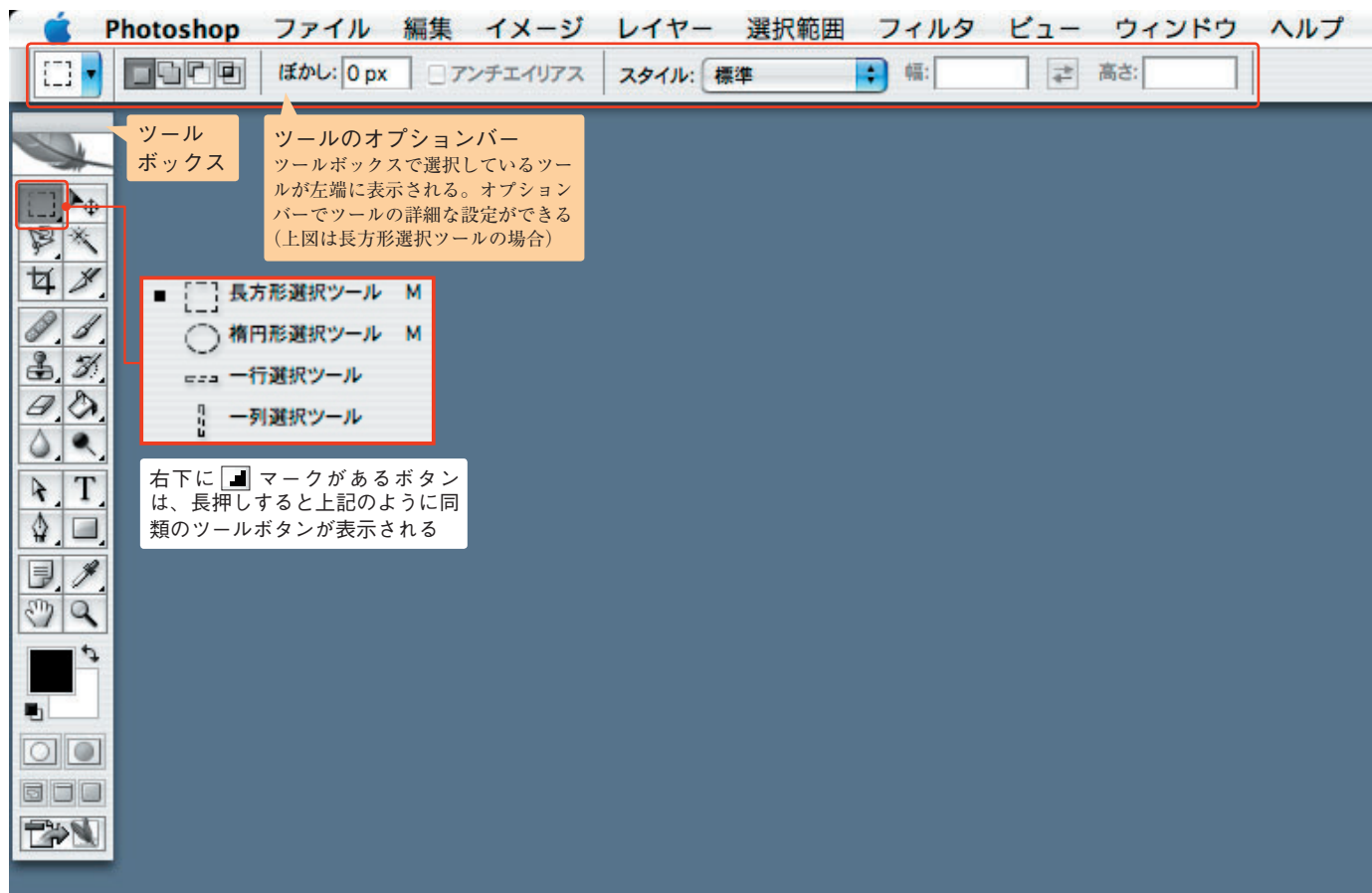



6-1 さまざまな選択ツール

Photoshopにはさまざまな選択ツールがある。選択対象によって向き不向きがあるので、ツールの特徴をふまえて効率よく使おう。写真の画像補正において、最も使用頻度が高いのが、「自動選択ツール」とクイックマスクを使った補正である。これについては書籍で詳しく説明しているので、参照されたい。

Photoshopのツールボックスとオプションバー

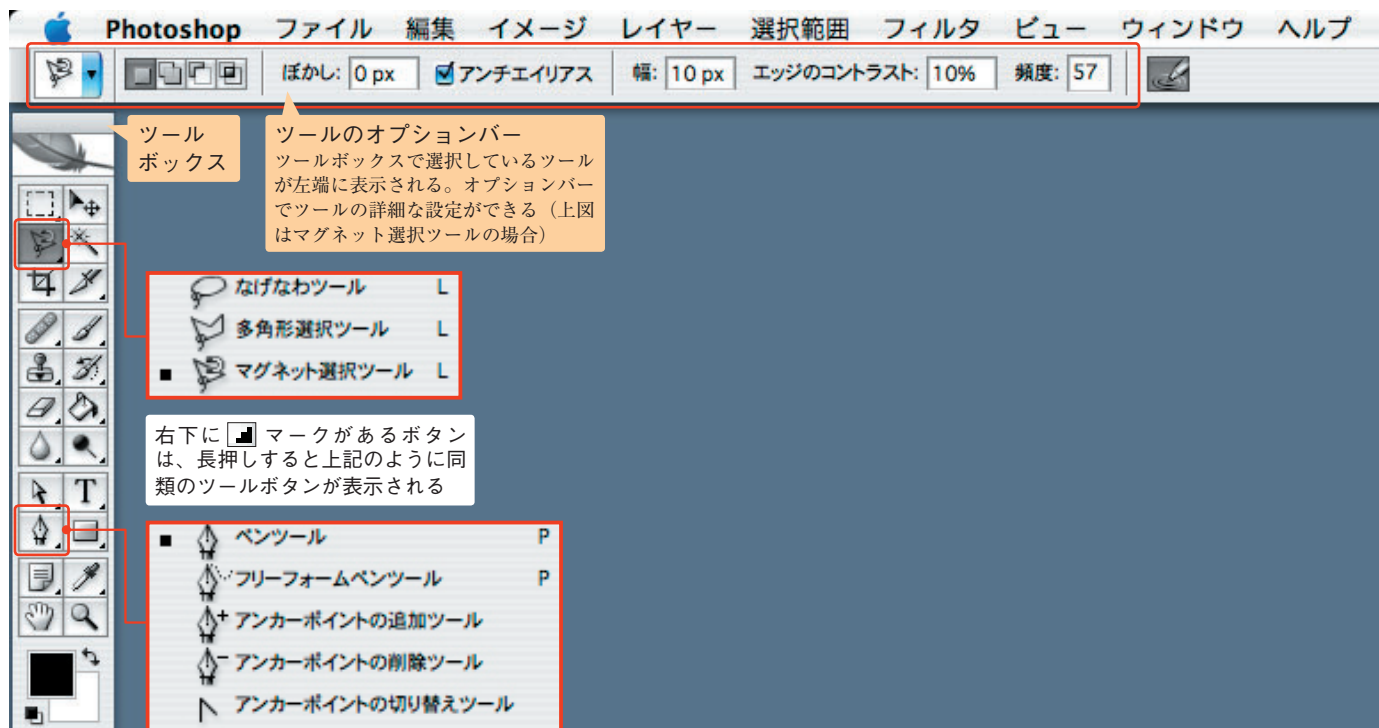


矩形と円形の選択

一般的な意味で最もなじみがある選択ツールは、ツールボックス左上の「長方形選択  / 楕円形選択  ツール」だ。

画像の上をマウスでドラッグすれば、簡単に矩形（四角形）や楕円形の選択範囲を作れる。[shift] キーを押さな

- がらドラッグすれば、正方形・正円の選択範囲を作ることができる。が、写真画像の処理でこれらを使うことは、デザイン目的以外ではまずない。通常は、人物や自動車など
- 不定形な輪郭を選択することになるはずだ。



不定形な範囲の選択ツール

ツールボックスには、不定形な範囲を選択するためのツールがいくつか用意されている。一通り紹介しておこう。

なげなわツール

マウスをドラッグして自在に動かし、最後にダブルクリックすれば、起点と終点を結ぶマウスの軌跡がそのまま選択範囲になる。一見便利そうだが、複雑な形ではマウスボタンを押したまま作業するため、意外と手こずる。実のところ、あまり使わない機能だ。

多角形選択ツール


マウスをクリックするたびに点と点を結ぶ直線が描かれる。この操作を連続して行えば、複雑な形を描くことができる。狙い通りに選択されない時は、[delete] キーを押すことで1つ前の段階に戻る。最後に起点をクリックするか、任意の位置でダブルクリックすると選択範囲が確定する。曲線も短い直線の連続として描いていけるので、画像を拡大表示して丁寧に操作すれば微細な輪郭も選択できる。後述するクイックマスクと組み合わせれば、それなりに使える。

マグネット選択ツール

コントラストや色の違いをPhotoshopが感知する。選択したい輪郭の一部でマウスをクリックし、その後ゆっくりと輪郭をなぞるようにマウスを動かせば、マウスボタンを放していても画像が自動的に選択される。狙い通りに選択されない時は、[delete] キーを押すことで1つ前の段階に戻る。自分でクリックすれば任意の位置にポイントを作成できる。最後に起点をクリックするか、任意の位置でダブルクリックすると選択範囲が確定する。

スタジオの無地の背景で撮影した画像などには非常に有効だが、自然の風景などで輪郭が明確でない場合はあまり向かない。

ペンツール

オプションバーで (パス) が選択されている状態でマウスをクリックすると、クリックするたびに点と点を結ぶ線 (パス) が描かれる。直線だけでなく、マウスをドラッグすることでベジェ曲線と呼ばれる曲線も描ける。描いたパスは選択範囲に置き換えることができる。パスの操作は慣れないと難しいが、知っておくと便利な機能だ。ペンツールによるパスはデザインではよく用いられるが、一般的な写真の修正作業ではそれほど多用されない。そのため、パスの扱いについては割愛する。